

平成30年度 第10回 吹田市政策会議概要

日 時：平成30年10月25日（木）午後1時40分～午後2時25分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

構成員：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、中野児童部長

所 管：【福祉部（高齢福祉室）】後藤部長、中川次長、森田室長、西澤参事
木村主幹

案 件	吹田市立南山田デイサービスセンターの廃止について
担当及び関連部局	福祉部 高齢福祉室
<p>【案件概要】</p> <p>吹田市立南山田デイサービスセンターについて、地域のサービス需給状況、施設の稼働状況、施設の老朽化などの観点から、平成31年3月末をもって廃止する。</p>	
<p>【所管部の考え方】</p> <p>現行の指定管理期間が満了する平成31年3月31日をもって、下記の理由により廃止したいと考えている。</p> <p>(1) サービス需要が低い圏域に立地し、かつ同一圏域に2つの市立デイサービスセンターを設置しており、南山田については指定管理期間を通して稼働率が低く（約40%）、設置の意義が薄い</p> <p>(2) 施設の老朽化から修繕費等の維持費用が増大</p> <p>(3) 介護保険の事業所としての採算が取れず（定員15人に平均利用者6人）、利用料金制による運営が困難</p>	
<p>【質疑概要】</p> <p>質問： 南山田デイサービスセンターを廃止することについては理解できる。同じブロックにある亥の子谷デイサービスセンターと比べて稼働率が低いのは、理由があるのか。</p> <p>回答： 南山田デイサービスセンターは住宅地の奥まった場所に位置していること、また、市立幼稚園の跡を利用しているため、トイレの場所が遠いなどデイサービス施設として建設された構造ではないことが影響していると考えられる。</p> <p>質問： 施設の廃止後、今の利用者は亥の子谷デイサービスセンターで受け入れがされるのか。</p> <p>回答： 亥の子谷デイサービスセンターで全員を受け入れることは困難。しかし、民間のデイサービスセンターを含めると受け入れ枠は十分あると考える。</p> <p>意見： 今の利用者には、丁寧な説明をもって対応すること。</p> <p>意見： 施設廃止後の跡利用について、介護保険事業計画などを踏まえ、不足しているサービスの提供に向けた活用について検討し、整理すること。</p>	

【結果】

本案件は承認された。施設廃止後の跡利用における課題については検討して整理すること。